

令和3年度一般会計決算

○決算の概要

高座清掃施設組合（以下「組合」という。）は、海老名市、座間市及び綾瀬市（以下「構成市」という。）から排出される一般廃棄物の中間処理を広域で行うことを目的として設立され、構成市からの分担金が組合運営に充てられています。

処理施設の老朽化に伴い平成25年度に水処理施設（し尿処理施設）、平成30年度にじん芥処理施設（高効率ごみ発電施設、マテリアルリサイクル施設）を更新しました。

更新したじん芥処理施設等の維持管理は、令和元年度から20年間、特別目的会社による維持管理として管理機能を移行しました。

組合と組合周辺環境の調和を目的とする本郷ふれあい公園整備事業につきましては、令和元年度に第一工区を供用開始し、令和3年度は第二工区の用地取得及び整備工事に伴う実施設計を行いました。

令和3年度一般会計決算額は、歳入総額が3,511,753,767円、歳出総額が3,016,837,242円となりました。歳入総額は前年度決算と比較すると13.6%の増額となり、歳出総額は前年度決算と比較すると8.7%の増額となりました。

歳入歳出差引額は494,916,525円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支額は455,129,525円となりました。

（単位：円）

	令和3年度 (a)	令和2年度 (b)	年度比較 (a) - (b)	対前年度 伸 率
歳入総額 (A)	3,511,753,767	3,090,128,258	421,625,509	13.6%
歳出総額 (B)	3,016,837,242	2,776,099,953	240,737,289	8.7%
差引額 (A) - (B) (C)	494,916,525	314,028,305	180,888,220	57.6%
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	39,787,000	57,656,000	△ 17,869,000	△ 31.0%
実質収支 (C) - (D) (E)	455,129,525	256,372,305	198,757,220	77.5%
単年度収支 (F)	198,757,220	△ 250,254,078	449,011,298	179.4%
繰上償還額 (G)	0	0	0	—
実質単年度収支 (F) + (G)	198,757,220	△ 250,254,078	449,011,298	179.4%

○歳入決算概要

歳入決算額3,511,753,767円は、対令和2年度（以下「対前年度」という。）421,625,509円（13.6%）の増額となりました。

分担金2,277,898,000円は、対前年度596,474,000円（35.5%）の増額となりました。主な理由として、運営費分担金は、令和3年度当初予算における繰越金の減少により対前年度318,580,000円（24.0%）の増額、建設費分担金は、じん芥処理施設等建設事業に伴い平成29年度に借り入れた組合債の元金償還開始により対前年度286,828,000円（93.8%）の増額、周辺環境整備費分担金は、本郷ふれあい公園整備事業の進捗に伴い対前年度8,934,000円（19.1%）の減額となりました。

使用料及び手数料414,107,226円は、事業系可燃物搬入量の増加により対前年度12,409,301円（3.1%）の増額となりました。

国庫支出金108,969,000円は、本郷ふれあい公園整備事業に充てる土木費国庫補助金（厚木飛行場周辺公園設置補助金）であり、事業の進捗により対前年度49,185,000円（31.1%）の減額となりました。

県支出金54,384,000円は神奈川県市町村自治基盤強化総合補助金となり、衛生費県補助金38,782,000円は対前年度19,680,000円（103.0%）の増額となりました。主な充当先は旧処理施設（排水処理施設及び粗大ごみ処理施設）解体です。

土木費県補助金15,602,000円は対前年度1,230,000円（7.3%）の減額となり、主な充当先は本郷ふれあい公園（第二工区）整備に伴う用地代等です。

繰越金314,028,305円は、対前年度264,944,078円（45.8%）の減額となりました。純繰越金256,372,305円は、対前年度250,254,078円（49.4%）の減額、繰越明許費繰越額57,656,000円は、対前年度14,690,000円（20.3%）の減額となり、その内容は、排水処理施設及び粗大ごみ処理施設解体工事です。

諸収入395,636円は、対前年度197,139円（33.3%）の減額となりました。主なものは雇用保険被保険者負担金です。

組合債341,800,000円は、対前年度125,100,000円（57.7%）の増額となりました。

衛生債196,600,000円は対前年度124,100,000円（171.2%）の増額となり、主な充当先は旧処理施設解体です。

土木債145,200,000円は対前年度1,000,000円（0.7%）の増額となり、充当先は、本郷ふれあい公園整備事業です。

財産収入171,600円は、対前年度16,481,575円（99.0%）の減額となりました。

不動産売却収入171,600円は県道43号拡幅に伴う公園用地売却代です。

なお、物品売却収入は、皆減しています。

歳入

（単位：円）

款	当初予算額 A	補正等予算額 B	予算現額 A+B	歳入決算額 C	執行率 C/(A+B)
1. 分担金及び負担金	2,277,898,000	0	2,277,898,000	2,277,898,000	100.0%
2. 使用料及び手数料	371,299,000	0	371,299,000	414,107,226	111.5%
3. 国庫支出金	205,895,000	0	205,895,000	108,969,000	52.9%
4. 県支出金	26,005,000	25,498,000	51,503,000	54,384,000	105.6%
5. 繰越金	100,000,000	214,028,000	314,028,000	314,028,305	100.0%
6. 諸収入	178,000	0	178,000	395,636	222.3%
8. 組合債	308,900,000	204,600,000	513,500,000	341,800,000	66.6%
7. 財産収入	0	171,000	171,000	171,600	100.4%
歳入合計	3,290,175,000	444,297,000	3,734,472,000	3,511,753,767	94.0%

○歳出決算概要

歳出決算額3,016,837,242円は、対前年度240,737,289円（8.7%）の増額となりました。

議会費1,086,582円は、対前年度53,315円（4.7%）の減額となりました。支出額の主なものは、議員報酬923,182円及び議会議事録作成に伴う反訳事務158,400円です。

総務費425,641,612円は、対前年度8,759,308円（2.0%）の減額となりました。支出額の主なものは総務課職員等の人件費151,577,483円、海老名市への交付金173,843,712円、最終処分場等土地借料34,180,766円、公用車及び電算機器等の賃借料22,078,483円、敦賀市との裁判に係る着手金9,330,435円です。

なお、企画費の継続費『一般廃棄物処理基本計画策定業務委託』は令和3年度から令和4年度へ逐次繰越しています。

民生費26,014,316円は、対前年度2,130,954円（8.9%）の増額となりました。支出額の主なものは、本郷老人福祉センター指定管理料24,780,000円です。

衛生費1,572,098,376円は、対前年度96,660,055円（6.6%）の増額となりました。

支出額が増額した主な要因は、令和2年度から繰り越した排水処理施設及び粗大ごみ処理施設解体工事によるものです。

支出額の主なものは人件費363,739,978円、じん芥処理施設等管理運営業務863,163,629円、排水処理施設及び粗大ごみ処理施設解体工事287,379,950円です。

なお、塵芥処理費の『高座クリーンセンター屋外トイレ等設置工事9,650,000円』、し尿処理費の『水処理施設定期整備補修18,337,000円』及び『水処理施設盤内機器更新7,678,000円』は令和4年度へ繰り越しています。

土木費293,196,660円は、対前年度31,841,473円（9.8%）の減額となりました。減額の主な要因は、本郷ふれあい公園（第二工区）整備における用地取得面積の減少によるものです。支出額の主なものは、本郷ふれあい公園（第二工区）整備に伴う用地としての公有財産購入費235,143,705円です。

教育費99,965,076円は、対前年度91,918,330円（47.9%）の減額となりました。支出額の主なものは、高座施設組合屋内温水プール修繕費12,432,970円、高座施設組合屋内温水プール指定管理料85,821,000円です。

公債費598,834,620円は、対前年度274,518,706円（84.6%）の増額となりました。

増額の主な理由としては、じん芥処理施設等建設事業に伴い平成29年度に借り入れた組合債の元金償還開始によるものです。

歳出

（単位：円）

款	当初予算額 A	補正等予算額 B	予算現額 A+B	歳出決算額 C	執行率 C/(A+B)
1. 議会費	1,156,000	0	1,156,000	1,086,582	94.0%
2. 総務費	432,910,000	2,661,000	435,571,000	425,641,612	97.7%
3. 民生費	28,049,000	0	28,049,000	26,014,316	92.7%
4. 衛生費	1,494,118,000	279,820,000	1,773,938,000	1,572,098,376	88.6%
5. 土木費	551,321,000	0	551,321,000	293,196,660	53.2%
6. 教育費	132,956,000	211,000	133,167,000	99,965,076	75.1%
7. 公債費	619,665,000	0	619,665,000	598,834,620	96.6%
8. 予備費	30,000,000	161,605,000	191,605,000	0	0.0%
歳出合計	3,290,175,000	444,297,000	3,734,472,000	3,016,837,242	80.8%

決算収支(過去5年間)

(単位：円)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
歳入	8,675,694,359	11,504,123,838	2,881,435,119	3,090,128,258	3,511,753,767
1. 分担金及び負担金	2,117,803,000	1,681,270,000	1,418,747,000	1,681,424,000	2,277,898,000
2. 使用料及び手数料	445,304,815	466,327,465	458,961,732	401,697,925	414,107,226
3. 国庫支出金	1,649,971,000	2,895,325,000	169,490,000	158,154,000	108,969,000
4. 県支出金	272,307,000	300,000,000	17,846,000	35,934,000	54,384,000
5. 繰越金	379,349,265	406,403,234	614,473,189	578,972,383	314,028,305
6. 諸収入	459,279	29,898,139	62,017,198	592,775	395,636
7. 組合債	3,810,500,000	5,724,900,000	139,900,000	216,700,000	341,800,000
○ 財産収入	0	0	0	16,653,175	171,600
歳出	8,269,291,125	10,889,650,649	2,302,462,736	2,776,099,953	3,016,837,242
1. 人件費	645,678,725	641,704,128	555,789,692	544,179,303	516,240,643
2. 扶助費	5,060,000	4,815,000	4,640,000	4,290,000	3,770,000
3. 公債費	31,979,014	73,108,740	144,715,397	324,315,914	598,834,620
4. 普通建設事業費	5,824,891,832	9,067,623,775	332,990,845	484,350,758	570,038,036
5. 災害復旧事業費	0	0	0	0	0
6. 物件費	994,358,178	764,876,712	1,140,201,130	1,149,616,579	1,120,210,997
7. 補助費等	123,027,172	164,819,602	67,844,172	196,229,849	180,124,476
8. 維持補修費	644,296,204	172,702,692	56,281,500	73,117,550	27,618,470

○歳出の性質別考察

1 義務的経費

義務的経費1,118,845,263円は、対前年度246,060,046円(28.2%)の増額となりました。

(1) 人件費

人件費516,240,643円は、対前年度27,938,660円(5.1%)の減額となりました。減額の理由は、職員の減少及び人事院勧告によるものです。

(2) 扶助費

扶助費3,770,000円は、対前年度520,000円(12.1%)の減額となりました。支出内容は、職員に対する児童手当です。

(3) 公債費

公債費598,834,620円は、対前年度274,518,706円(84.6%)の増額となりました。増額の理由は、じん芥処理施設等建設事業に伴い平成29年度に借り入れた地方債の元金償還開始等によるものです。

2 投資的経費

投資的経費570,038,036円は、全て普通建設事業費となり、対前年度85,687,278円(17.7%)の増額となりました。主なものは、排水処理施設及び粗大ごみ処理施設解体工事287,379,950円、本郷ふれあい公園(第二工区)整備に伴う用地代235,143,705円です。

3 その他

(1) 物件費

物件費1,120,210,997円は、対前年度29,405,582円(2.6%)の減額となりました。減額的主要理由は、特別目的会社(SPC)による、じん芥処理施設等管理運営業務の減少によるものです。

(2) 補助費等

補助費等180,124,476円は、対前年度16,105,373円(8.2%)の減額となりました。減額の理由は、海老名市への交付金の変動によるものです。

(3) 維持補修費

維持補修費27,618,470円は、対前年度45,499,080円(62.2%)の減額となりました。減額の理由は、水処理施設修繕を令和4年度へ繰り越したことによるものです。

○廃棄物等の搬入概要

令和3年度の構成市全体の人口は、令和4年3月1日現在353,010人で、対前年度225人（0.1%）の増加となりました。

令和3年度の構成市からのごみ搬入量69,644.63tは、対前年度2,117.53t（3.0%）の減量となりました。内訳は、家庭系可燃物50,183.51tが、対前年度2,523.96t（4.8%）の減量、事業系可燃物16,503.95tが、対前年度485.36t（3.0%）の増量、不燃物1,361.42tが、対前年度54.11t（4.1%）の増量、粗大ごみ1,595.75tが、対前年度133.04t（7.7%）の減量となりました。

また、マテリアルリサイクル施設に搬入された不燃物等搬入量（不燃物搬入量と粗大ごみ搬入量の計）2,957.17tの6.7%に相当する198.81tの非鉄金属（アルミニウム等の有価物）及び鉄分（磁性物）が資源化物として回収されました。

令和3年度の構成市からのし尿搬入量12,099.34tは、対前年度1,092.01t（9.9%）の増量となりました。内訳は、生し尿1,464.26tが、対前年度94.91t（6.9%）の増量、浄化槽汚泥10,635.08tが、対前年度997.10t（10.3%）の増量となりました。

◎構成市の人口

区分	令和3年度	令和2年度	増減	伸率
海老名市	137,575人	136,981人	594人	0.4%
座間市	132,151人	132,116人	35人	0.0%
綾瀬市	83,284人	83,688人	△404人	△0.5%
計	353,010人	352,785人	225人	0.1%

◎ごみ搬入状況

区分	令和3年度	令和2年度	増減	伸率
家庭系可燃物	50,183.51t	52,707.47t	△2,523.96t	△4.8%
不燃物	1,361.42t	1,307.31t	54.11t	4.1%
粗大ごみ	1,595.75t	1,728.79t	△133.04t	△7.7%
事業系可燃物	16,503.95t	16,018.59t	485.36t	3.0%
計	69,644.63t	71,762.16t	△2,117.53t	△3.0%

◎し尿搬入状況

区分	令和3年度	令和2年度	増減	伸率
生し尿	1,464.26t	1,369.35t	94.91t	6.9%
浄化槽汚泥	10,635.08t	9,637.98t	997.10t	10.3%
計	12,099.34t	11,007.33t	1,092.01t	9.9%

○付帯施設の利用概要

付帯施設(余熱利用施設)である本郷老人福祉センター及び屋内温水プールは、平成18年度から指定管理者制度を導入しています。

現在の指定管理者 FunSpace・オーチュー運営企業体
指定期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

令和3年度の本郷老人福祉センターの利用者数654人は、対前年度15人の減少となりました。構成市別の利用状況は、海老名市が361人、座間市が108人、綾瀬市が185人となりました。

令和3年度の屋内温水プールの利用者数96,036人は、対前年度62,424人の増加となりました。平成5年度に開館以来の利用者累計は、令和4年3月末日現在で3,621,816人(男性1,851,231人、女性1,770,585人)となりました。

◎本郷老人福祉センター利用状況

		令和3年度		令和2年度		利用者数比較	
		利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	増減	伸率
海老名市	男性	212人	21件	263人	23件	△51人	△19.4%
	女性	149人		141人		8人	5.7%
	計	361人		404人		△43人	△10.6%
座間市	男性	50人	4件	56人	6件	△6人	△10.7%
	女性	58人		49人		9人	18.4%
	計	108人		105人		3人	2.9%
綾瀬市	男性	96人	9件	116人	10件	△20人	△17.2%
	女性	89人		44人		45人	102.3%
	計	185人		160人		25人	15.6%
合計	男性	358人	34件	435人	39件	△77人	△17.7%
	女性	296人		234人		62人	26.5%
	計	654人		669人		△15人	△2.2%

◎屋内温水プール利用状況

区分	令和3年度	令和2年度	増減	伸率
男性	52,256人	18,311人	33,945人	185.4%
女性	43,780人	15,301人	28,479人	186.1%
計	96,036人	33,612人	62,424人	185.7%

令和4年度執行状況(令和4年9月30日現在)

歳入 (単位:円)

款	予算現額	収入済額	執行率
1. 分担金及び負担金	2,474,239,000	1,257,473,000	50.8%
2. 使用料及び手数料	411,197,000	168,720,856	41.0%
3. 国庫支出金	125,087,000	0	0.0%
4. 県支出金	35,426,000	0	0.0%
5. 繰越金	189,787,000	494,886,525	260.8%
6. 諸収入	252,000	131,496	52.2%
7. 組合債	289,700,000	0	0.0%
歳入合計	3,525,688,000	1,921,211,877	54.5%

歳出 (単位:円)

款	予算現額	支出済額	執行率
1. 議会費	1,156,000	329,400	28.5%
2. 総務費	400,968,000	92,179,193	23.0%
3. 民生費	28,394,000	9,950,575	35.0%
4. 衛生費	1,476,054,000	364,000,210	24.7%
5. 土木費	355,199,000	68,147,755	19.2%
6. 教育費	206,590,000	65,833,875	31.9%
7. 公債費	1,027,761,000	475,772,375	46.3%
8. 予備費	29,566,000	0	0.0%
歳出合計	3,525,688,000	1,076,213,383	30.5%

令和4年度高座清掃施設組合の当初予算は、32億3,744万4千円でしたが、前年度から繰り越された通次繰越額、繰越明許費繰越額等2億8,824万4千円を加え、予算現額は35億2,568万8千円となりました。

予算現額に対する令和4年9月30日現在の執行状況について、歳入予算は、収入済額19億2,121万1,877円・執行率54.5%、歳出予算は、支出済額10億7,621万3,383円・執行率30.5%となっています。

執行率が低い主な理由について、歳入は、周辺環境整備事業等に充てる特定財源である国県支出金及び組合債等が未収のためです。これらの特定財源は、完了後において、実績報告等の手続きを経て入金される予定です。

歳出は、特定目的会社に委託する、じん芥処理施設等運営・維持管理業務や指定管理者が管理する余熱利用施設(本郷荘及び屋内温水プール)の支払いを分割するためです。

なお、9月末における支出負担行為額は14億241万4,265円(執行率は39.8%)です。

財産などの状況(令和4年9月30日現在)

組合債現在高(令和4年9月30日現在) (単位:円)

区分	令和4年3月31日 現在高	令和4年4月1日～令和4年9月30日		令和4年9月30日 現在高
		借入額	元金償還額	
一般廃棄物処理事業債	8,546,485,005	0	386,060,160	8,160,424,845
じん芥処理施設建設事業	8,345,052,372	0	372,427,063	7,972,625,309
水処理施設建設事業	182,855,947	0	12,861,736	169,994,211
構内整備事業	18,576,686	0	771,361	17,805,325
一般補助施設整備等事業債	1,389,550,892	0	58,265,041	1,331,285,851
じん芥処理施設建設事業	1,389,550,892	0	58,265,041	1,331,285,851
公共事業等債	352,031,184	109,800,000	6,394,082	455,437,102
公園整備事業	352,031,184	109,800,000	6,394,082	455,437,102
一般事業債	405,821,000	0	17,179,500	388,641,500
構内整備事業	223,100,000	0	11,465,000	211,635,000
公園整備事業	182,721,000	0	5,714,500	177,006,500
地方道路等整備事業債	17,198,000	0	717,000	16,481,000
構内整備事業	17,198,000	0	717,000	16,481,000
神奈川県市町村振興資金貸付金	899,336,440	0	0	899,336,440
じん芥処理施設建設事業	819,707,485	0	0	819,707,485
公園整備事業	33,834,371	0	0	33,834,371
構内整備事業	45,794,584	0	0	45,794,584
計	11,610,422,521	109,800,000	468,615,783	11,251,606,738

財産(令和4年9月30日現在) (単位:m²)

区分	土地	建物(延床面積)
清掃処理場	56,908.35	32,392.57
本郷老人福祉センター	2,592.47	779.09
埋立処分地	5,398.71	453.23
本郷ふれあい公園	32,492.52	27.62
計	97,392.05	33,652.51

清掃処理場は、水処理施設、旧ごみ処理施設、新ごみ処理施設、旧事務所(旧車庫及び緩衝緑地帯を含む)、屋内温水プールの土地面積及び建物延床面積を合わせたものです。

本郷ふれあい公園(第二工区)用地取得により増加しています。

土地について、本郷ふれあい公園(第二工区)の用地取得を進めているため、増加が見込まれます。

建物について、屋外トイレ等を設置したため面積は増加しています。